

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	永福ここわ保育園
法人名	(株)ディアローグ
法人所在地	京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して取り組んでいる教育活動の一環として、【英語】を活用しながら【ことば】に関する探究活動を行い、非認知能力の向上を含む保育内容の充実を目指します。

<テーマの設定理由>

当園では開園以来、週に2回、外国人講師が来園し、英語を通じて子どもたちと交流してきました。レッスンでは、保育者も園児とともに学びながら寄り添い、共に成長してきました。このように、英語が園児にとって身近で興味を引く存在となっていることから、英語だけでなく、日常的に使う日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

「私たちが話していることばは、何ということばか知っている？」という問いをもとに、子どもたちと知っていることばを色々と言ってみる。

「月ようびはなにたべる」（エリックカール）の絵本を見せながら、子どもたちの発することばに耳を傾けたり、ことばのやり取りを対保育者、子ども同士で行う。その後絵本の読み聞かせを行う。英語講師が来園した際に、「月ようびはなにたべる」の英語版“today is monday”の絵本を見せながら、子どもたちの発することばに対して、英語講師とやり取りする。その後英語講師が絵本の読み聞かせを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

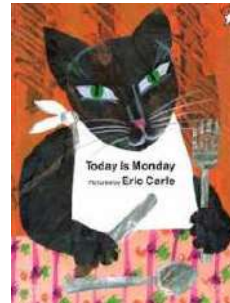
【環境設定】

英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材、道具】

同じ絵本の日本語版と英語版

エリックカールの「月ようびはなにたべる」とToday is monday



4-①. 探究活動の実践

<活動の内容> “Today is monday”の英語絵本を読み聞かせ

英語講師が“Today is monday”の絵本を読み聞かせをしました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

最近アルファベットに興味持っているからか、英文を指でたどりながら目で追う子もいた。翌週、もう一度読むと先週よりも内容を理解し、講師の問いかけに答えたり一緒に口ずさむ姿があった。英語講師と一緒に「この男の子は〇〇くんかな？」と自分たちに例えたり、「この食べ物はなに？」と想像を膨らませたりしていた。ローストビーフの絵を見て「bread!」と言う子がいて、保育者が「よくbread覚えてたね」と声を掛けると「えいご好きだから」と返していた。



4-①. 探究活動の実践

<活動の内容> 「月曜日はなに食べる？」日本語絵本の読み聞かせ

保育士が日本語の絵本「月曜日はなに食べる？」を読みました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

前月に英語で歌ったリズムが頭に入っている様子で、一人が口ずさむと周りの子も歌い出し、みんなで楽しんでた。「水曜日…次はなんだっけ?」「木曜日だよ!」と友だちと教えあったりと曜日の並び順を覚えるきっかけにもなっている。その中で「水曜日のゾープってなに?」という疑問が出た。「スープ」「ゾウのエサ」と予想が出たが、保育者が調べて「動物のzooと soupが合わさった言葉なんだって」というと「動物はzooって言うんだ!」と新たな発見をしていた。

5-①. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

正解を当てることよりも、自分が思ったことを知っている単語で答えようとする姿を認め意欲を損なわないようにした。

【次回への問い】

「水曜日のゾープってなに?」という疑問が出た。“zoop”について自分達で考えたらおもしろいのではないかな?

4-②. 探究活動の実践

<活動の内容>”zoop”を考える

”zoop”とは何か？子ども達が調べ始めました。



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「ゾープってなに？」という疑問から、図鑑にゾープが載っているか調べ始めた。「月曜日はなに食べる？」の絵本と見比べながら「チャーハン？」「ゾウってチャーハン食べるのかな」「リンゴと水が好きだよ」「でもこれは水じゃないね」など自分たちで思考を巡らせていた。結局図鑑には載っていない、誰か知っている先生はいるか考え始め、英語講師に聞いてみることにした。「なんて聞けばいい？」と保育者に聞き、「What's zoop?」と教わると、講師に聞きに行っていた。「meat」「carrot」「beans」と入っている物を教えてもらい、納得したような表情だった。



5-②. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

英語講師には英語で聞こうする姿があり、子ども達が言葉の違いに気が付いていることがわかった。

【次回への問い】

英語版“today is monday”の絵本に出てくる食べ物に興味を持っていたので、自分の好きな月～金の食べ物を描いてみたらどうか？

4-③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>自分が食べたい物を描いてみる

「月ようびはなに食べる」に出てくる月曜日から金曜日までの食べ物の中からの自分の好きな月～金の食べ物を描いてみました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

すぐにどんどん描き始める子もいれば、「何にしよう」とじっくり悩む子もいた。友だちと話しながらからあげやブドウなど好きな食べ物を描いたり、カラフルなたこ焼きだったり2日連続アイスクリームにしたりと自由に描き進めていた。最後は絵本の歌に合わせて一人ずつ作品を発表した。絵本の世界に入り込んで色んな想像をしながら描くことに充実感を味わっているようだった。描き終わると「わたしの絵本！」と嬉しそうにし、友だちと歌に乗せて見せ合っていた。保育者も一緒に描くことで子どもと会話をしながら楽しさを共有できるようにした。発表の時はみんなで歌いながら楽しく進めることができた

4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容> 英語で知っている食べ物から自分が食べたい物を描いてみる

英語で知っている食べ物の中から3~4名ずつのグループで好きな月~金の食べ物を描いてみました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

三色食品群の話を以前したこともあり、わかめや牛乳、人参といった好きな物だけでなく栄養バランスを考えたものを描く姿があり、驚いた。発表の時には、「What's this?」の問いかけに対して、自ら「carrot」「potato」「strawberry」等答えていた。絵本の歌に合わせて歌ってみると、徐々に覚えてきて講師と一緒に口ずさんでいた。その日の給食ではご飯やにんじんなどの単語を振り返り、「知っているよ!」と得意げに答える姿があった。

英語以外の時間でも英語を使う姿が見られた。公園までの道のりで左右確認をしている時にすれ違った外国人の方に「good job!」と声を掛けられ、保育者が「good morning」と返すと同じように「good morning!」と大きな声で挨拶していた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

5-③ 【振り返り】

英語を使うことに戸惑いを感じることはない姿を見て、普段の英語講師との触れ合いが糧になっているのだと感じた。

【次回への問い】

英語講師は週2回来園し終日園にいるが、年度で担当講師が変わる。他の国籍の講師が担当になった場合は、子ども達はどんな反応をするだろうか？